

佐渡裕

指揮

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

交響曲第1番 ハ短調 Op.68

新日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン
三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

© Yoji Hori

© Jun Yoshimura

© K.Miura

2026 6.7日

14:00 開演
[13:15 開場]

駒ヶ根市文化会館

チケット料金(全席指定 / 税込)

SS席11,000円 / S席10,000円 / A席8,000円 / 学生席(高校生以下)3,000円

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。※事情により公演内容が変更になる場合がございます。

一般発売日

4月19日[日]

公演に関する
お問合せ

駒ヶ根市文化会館 0265-83-1130

9:00~17:00 | 休館日: 月曜日 祝日・振替休日の場合は翌日

ブレイガイド (★サ): サービスカウンターでの取扱いです。

ベルシャイン駒ヶ根店(★サ) 駒ヶ根市赤穂1568 0265-82-2111

ブックス宮田店 宮田村河原町6681 0265-96-0719

ベルシャイン伊那店(★サ) 伊那市日影435-1 0265-76-2111

平安堂座光寺店 飯田市座光寺3715 0265-23-4646

平安堂飯田店 飯田市鼎名古熊660-1 0265-24-4545

WEB販売 | イベントナガノ <https://www.event-nagano.net/>

○文化会館のほか、上記ブレイガイドでもチケットを購入いただけます。
○発売開始時間は、各店舗の開店時間となります。

主催 | 公益財団法人駒ヶ根市文化財団

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス！ 音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。



三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックスのアーティストティック・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルブ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥタメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマン、ロウヴァリ、フルシヤなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、ズーカーマン、マイスキー、ピリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ペーターヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製ガールネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮／音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでバリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」（PHP文庫／新書）など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



新日本フィルハーモニー交響楽団 NEW JAPAN FILHARMONIC SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（75～79年）、第2代音楽監督・井上道義（83～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（03～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（16～21年）。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP（10～16年）、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence（13～15年）、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ（W.D.O.）音楽監督（04～25年3月）、Music Partner（20～25年3月）を務めた。受賞歴に三菱信託音楽奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp 公式X：@newjapanphil
公式Facebook：/newjapanphil 公式Instagram：/newjapanphil



© K.Miura

駒ヶ根市文化会館

〒399-4115 長野県駒ヶ根市上穂栄町23番1号
TEL 0265-83-1130(代)

交通アクセス

- お車で
 - 中央自動車道「駒ヶ根インターチェンジ」より約5分
- 公共交通機関で
 - JR飯田線「駒ヶ根駅」より徒歩約7分
 - 高速バスターミナルより徒歩約3分

